

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
東洋医療専門学校		平成12年3月31日		太田 宗夫		〒 532-0004 (住所) 大阪市淀川区西宮原1-5-35 (電話) 06-6398-2255		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人大阪滋慶学園		昭和62年3月31日		浮舟 邦彦		〒 532-0003 (住所) 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-43 (電話) 06-6150-1301		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
医療	医療専門課程		柔道整復師学科		平成20(2008)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的	職業人教育を通して社会に貢献すること』をミッションとし、広い視野を持って現実を見つめ、豊かで柔軟な感性と人格を身に付け、基本的知識・技術を発展的に捉え、常に新しい技術を追求め、未来を見つめる「心構え」すなわち「主体性」を持った社会に必要とされる歯科技工士の養成を目指している。この「主体性」の修得こそ本校が目指す教育であり、三つの教育理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を柱に「主体性」を持って、現代社会で自己の未来を切り開いてゆく創造的能力と、勇気と信念を持った人間の育成、各業界でリーダーとなる人材の育成を教育の目標、目的としている。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格：柔道整復師(国家資格) 2023年度合格率：90%(36名/40名) 国家試験対策はもちろん、実践的な技術習得を目指し、業界で活躍する多数の講師陣が直接学生を指導することが特長です。また授業のみならず、美容、スポーツ、臨床テクニク、苦手対策補習など、選択制のセミナーも実施しており、将来に役立ちます。 中退率：14.9%(22名 主な理由:学力不審、経済的理由、進路変更など)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,925 単位時間	1,440 単位時間	585 単位時間	900 単位時間	
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)			
180 人	131 人		0 人		0 %			
就職等の状況	■卒業者数(C)		40 人					
	■就職希望者数(D)		34 人					
	■就職者数(E)		34 人					
	■地元就職者数(F)		26 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		76 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		85 %					
	■進学者数		1 人					
	■その他							
	一次的な仕事に就いた者:5名							
(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和5年度卒業生)								
整骨院、鍼灸整骨院、病院、クリニック、介護施設など								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載							
当該学科のホームページURL	https://www.toyoiryo.ac.jp/gakka/it/							
企業等と連携した実習等の実施状況	(A:単位時間による算定)							
	総授業時数	2,925 単位時間						
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数						
		660 単位時間						
		うち企業等と連携した演習の授業時数						
		165 単位時間						
		うち必修授業時数						
		2,925 単位時間						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	660 単位時間							
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数							
	165 単位時間							
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)								
180 単位時間								
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)					10 人		
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)					2 人		
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)					0 人		
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)					1 人		
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)					1 人		
	計					14 人		
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数					4 人		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
学校法人大阪滋慶学園が設置する東洋医療専門学校教育課程の編成における基本方針は、企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映させることが重要であり、今後さらなる連携体制を構築していかなければならないと考えている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
東洋医療専門学校教育課程編成委員会規程第2条に明記されているように教育課程編成委員会は、法人の最高意思決定機関である法人理事会の直下に置かれている。組織図参照同規定第3条及び事第4条のとおり理事長が事務局委員長となりその他の構成メンバーは法人理事会により承認される。具体的には学校の各セクションの責任者と、専門分野に関する企業の役職員など広く選任されている。
教育課程編成委員会で得た企業等の意見や要望は学科内で要約されカリキュラムへの反映を事業計画発表会で共有し次年度事業計画に盛り込まれる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

#REF!

名 前	所 属	任期	種別
布施 正朝	公益社団法人大阪府柔道整復師会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
正木 大吾	正木鍼灸整骨院 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高野 公輔	整骨・鍼灸治療院ワカメ 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
【学内担当者】			
岩崎 英明	柔道整復師学科 学科長		—
山田 靖典	柔道整復師学科 専任教員		—
岩本 暁美	柔道整復師学科 専任教員		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、12月)
(開催日時(実績))
第1回 令和6年7月7日 9:00～12:00
第2回 令和6年12月1日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
今年度は学生の「退学」について昨今の退学者数、退学率、時期、理由などを挙げ、本校の取り組み及び現状の課題を説明し、委員の先生方から意見をいただいた。

【短期・中期】モチベーションアップに向けて
・早期に講義(開業の魅力、やりがい、楽しさ、感謝される喜び など) → 卒業生、業界の先生、トレーナー
【中長期】勉強の取り組みについて
・毎日取り組む必要性、勉強すべき環境 → スマートフォン、小テスト など

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

日々進化する医療業界では、新しい技術や新しい知識の習得が重要である。企業と連携した実習・演習を通じ、最先端の技術・知識習得を目的としている。また、技術・知識だけでなく目指す業界の方々と接することにより学習意欲就業意欲向上を目指している。

実習・演習等で学んだ知識・技術が将来における臨床現場で活用され、理論と実践を結びつけて理解できる能力を養うとともに、実社会におけるルール等を肌で感じ職業観・勤労観を育成するとともに、自らの適性を見つめながら具体的な将来像を描き、社会人としての総合的な人間力を高めることを基本方針としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学外では実習指導要領に基づいて、企業と実習履修内容の詳細打ち合わせを事前に実施し、学内での事前オリエンテーションでは考え方・行動・姿勢を十分説明し、企業および担当者にも失礼の無いよう指導する。この実習期間中は企業担当者と担当教員で問題点の有無を相談し、問題点が発生すれば対応を行う。学内の演習においては業界が求める人材に必要な到達度について企業と事前に授業内容の打ち合わせを行った上で授業計画を立案し、それに基づいた演習の実施・及び評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンディショニングトレーナー講座1	トレーニングの原理原則、基礎基本をもとに座学を交えながら実技を中心に学ぶ。	トヨタ自動車ビーチバレーボール部トレーナー
手技療法1	柔道整復師として後療法での手技療法の知識と実技を身に付ける。	ホリスティックメディカルジャパン
外傷予防理論実習1	介護保険制度に対する知識と機能訓練指導員としての技術を習得し学ぶ。	ディハートたなか
柔道整復実技4	前腕骨遠位端部骨折の各論、顎、肩、肘、肩鎖関節脱臼の整復実技、上腕骨外科頸骨折、橈骨遠位端部骨折の固定法、functional braceによる上腕骨骨幹部骨折の応用固定法、肩鎖関節脱臼のテーピング固定法を学ぶ。	正木鍼灸整骨院
柔整外傷学実習1	各種固定法、軟部組織損傷判別テストの習得を目指す。	西尾接骨院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、資質・能力の向上を研修の基本方針としている。

教職員研修規程に基づき、担任マニュアル・教職員研修マニュアル・講師マニュアルに則り研修を実施している。具体的には、業界で求められる最新の知識・技術を習得するため業界が主催する学会への参加、大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教員研修に積極的に参加している。

滋慶学園グループ内では教育の質的向上を目指すために独自の研究機関として滋慶教育科学研究所を設置し、教育システムの構築・教育ノウハウの蓄積を行っている。また専門分野に分かれた委員会が設置されており、より教育の質向上に向けた研修が行われている。その他としては、学生指導に関わる人・カリキュラム・教材・環境に関する各委員会による研修も行っている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	JSA-CSTS(日本ストレッチングセルフ資格)	連携企業等:	日本ストレッチング協会
期間:	令和5年5月11日・12日・18日・19日、6月1日・2日	対象:	山田 靖典
内容	セルフストレッチング検定取得のための講習会		
研修名:	第65回教員研修会	連携企業等:	全国柔道整復学校協会
期間:	令和5年9月23日・24日	対象:	姫、岩本、堀口、林、井上、水谷、岩田、本田
内容	『柔道整復の新時代へ』		
研修名:	兵庫県認定救護柔道整復師 認定講習1	連携企業等:	兵庫県柔道整復師会
期間:	令和5年10月22日	対象:	竹田 英樹
内容	社団での救護活動における救護派遣員の質の担保のため		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	NEW EDUCATION EXPO 2023	連携企業等:	NEW EDUCATION EXPO 実行委員会
期間:	令和5年6月9日・10日	対象:	姫 将司
内容	教育現場におけるDX・ICT活用に関して		
研修名:	第6回EDIX関西	連携企業等:	EDIX実行委員会
期間:	令和5年6月14日	対象:	姫 将司
内容	教育課題の解決に向けた最新のアイデア、技術について		
研修名:	DX推進研修	連携企業等:	DX委員会
期間:	令和5年6月19日、7月31日、9月11日	対象:	井上 亜久吏
内容	データ利活用に必要なスキルを身につける		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	第40回西日本支部学術集会	連携企業等:	日本超音波骨軟組織学会
期間:	令和6年5月26日	対象:	姫 将司
内容	超音波画像診断装置を用いた臨床的な活用		
研修名:	JSA-CSTS(日本ストレッチングセルフ資格)	連携企業等:	NPO法人 日本ストレッチング協会
期間:	令和6年6月2日	対象:	岩田 早紀
内容	セルフストレッチング検定取得のための講習		
研修名:	第4回平沢整骨院勉強会	連携企業等:	平沢整骨院
期間:	令和6年6月22日	対象:	井上、水谷、堀口、本田、岩本
内容	柔道整復師としての活躍の場		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	NEW EDUCATION EXPO 2024	連携企業等:	NEW EDUCATION EXPO実行委員会
期間:	令和6年6月14日・15日	対象:	姫 将司、水谷 遼香
内容	教育現場におけるDX・ICT活用		
研修名:	学会研究の進め方に関する勉強会	連携企業等:	滋慶科学研究所
期間:	令和6年8月7日	対象:	岩崎、竹田、本田、岩田
内容	学会発表にむけたサポート		
研修名:	FDミクロレベル研修	連携企業等:	滋慶科学研究所
期間:	令和6年8月8日・9日	対象:	竹田 英樹、堀口 晃一
内容	スタッフ育成のためのコーチング理論とその手法		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置き、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・理念・目的・育成人材像は定められているか・学校の特色は何か・学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	・運営方針は定められているか・事業計画は定められているか・運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか・意思決定システムは確立されているか・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	・各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか・カリキュラムは体系的に編成されているか・学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けがされているか
(4)学修成果	・キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか・授業評価の実施・評価体制はあるか・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・教員の専門性を向上させる研修を行っているか・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか・資格取得の指導体制はあるか
(5)学生支援	・就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか・資格取得率の向上が図られているか・退学率の低減が図られているか・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
(6)教育環境	・就職に関する体制は整備されているか・学生相談に関する体制は整備されているか・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか・学生の健康管理を担う組織体制はあるか・課外活動に対する支援体制は整備されているか・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか・保護者と適切に連携しているか・卒業生への支援体制はあるか・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか・学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか・防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか・入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか・学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか・財務について会計監査が適正に行われているか・財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか・自己点検・自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	・グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

内容	学校関係者評価委員からの意見	活用方法
学校全体	4 教育成果 4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 【高等学校・大学】国家試験合格率はすばらしい結果だと思います。広報活動にも今後活かしていただきたいです。 【歯科技工士学科】国家試験合格は通過点であり、専門性と社会人基礎力を在学中に身に付けることが学校の役割だと感じています。 【救急救命士学科】 ・国家試験合格率が全国平均より高いことはすばらしいことだと思います。 ・救命士法の改訂で病院救命士のニーズが増加しており、病院も救命士の地位確立を目指し努力しているところです。 ・就職先の拡大に向けた教育(消防、病院など)も必要だと思います。 【鍼灸師学科】学生に対するサポート力はすばらしいと思います。 【柔道整復師学科】社会人直前講座など在学习中に参加者が少ないと感じていました。もっと学生が積極的に参加する必要があると思います。	4 教育成果 4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 国家資格養成校であるため、国家試験の合格が専門職就職に直結する。具体的な取り組みについては、キャリアセンターと教務が連携し、就職情報を求人サイトで連絡、面談を通じ個々の要望に応じた求人の紹介、履歴書添削、面接指導、就職説明会を開催し、幅広い選択肢から自分に合った場所を見つけれられるようサポートしている。 歯科技工士学科、鍼灸師学科、柔道整復師学科については、質の良い就職先の確保が課題となる。また、毎年本校の卒業生を採用したいと思われる状況をつくっていきたい。救急救命士学科については継続して地方公務員採用試験に合格しうる教育体制を創っていくと同時に病院を含めた民間就職の拡充も目指していく。
柔道整復師学科教育	■教育活動 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 学生自身が発言できるような環境づくりをお願いします。 卒業後もっと鍼灸師への進学者を増やす取り組みを行ってはいかがでしょうか。 就職後はコミュニケーションが非常に大事だと思います。	■教育活動 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 入学前よりコミュニケーションの重要性を周知させており、入学後すぐの学内オリエンテーションや学外オリエンテーションを通じ、早い段階で学生自身が積極的に行動するような仕組みを作っている。 また自己点検自己評価により業界ニーズの聴き取り、さらなる業界の方々から欲する人材像に向けた教育を目指す。

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置き、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月31日

名 前	所 属	任期	種別
船木 昭治	船木デンタルラボ 代表 / 岡山県歯科技工士会 副会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者
渡辺 真季	海南市消防本部 予防係長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
能登路 賀一	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 救急救命士科 副室長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
松本 佳之	よしゆき鍼灸院 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
高野 公輔	整骨・鍼灸治療院ワカメ 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
與那嶺 天音	有限会社 おおえのきトータルヘルスケア	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
小早川 真一	元大阪府立寝屋川高等学校定時制 准校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高等学校
大池 信也	株式会社DL-GROUP(本部) 代表取締役会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(歯科技工士学科)
小塩 寛至	ナノ デンタル システム 代表	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(歯科技工士学科)
森本 幸夫	社会医療法人 純幸会 関西メディカル病院 EMT科 顧問	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(救急救命士学科)
富永 礼子	一般社団法人鍼灸保険協会大阪 代表理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(鍼灸師学科)
丸茂 美保子	鍼灸maman 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(鍼灸師学科)
布施 正朝	公益社団法人大阪府柔道整復師会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(柔道整復師学科)
正木 大吾	正木鍼灸整骨院 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(柔道整復師学科)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL: <https://www.toyoiryo.ac.jp/gakko/jyuhou/>

公表時期: 令和6年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校が保有する情報の公開及び開示に関し、学校が必要な事項を定め、当該情報を積極的に公開することにより、教育活動や取り組みについて広く社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の改善や社会全体からの信頼の獲得に資することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名、所在地、連絡先、沿革、学校の特色(教育活動、カリキュラム) 教育目標、教育指導方針
(2)各学科等の教育	定員数、入学者数、在校生数、カリキュラム(科目編成、授業時間数)、進級・卒業の要件(成績評価基準、卒業の認定基準)、目指す資格・検定等、資格取得等の実績、卒業者数、卒業後の進路(進学者数、主な就職先、就職者数)
(3)教職員	教職員数(職名別)、教職員の組織・活動(教職員の研修・研究活動)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、就職支援への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、部活動・放課後活動・生徒会活動等の状況、家庭・地域・企業等との連携による取り組み、他の学校との連携による取り組み等の状況
(6)学生の生活支援	学生の生活指導への取組状況(指導上の諸問題(中途退学、不登校など)の状況及びそれに対する学校の対処や指導の状況、心のケアの体制整備等に関する状況、留学生支援や障がい者支援も含め学校が取り組む様々な学生支援)
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い(金額や納入時期等)、活用できる経済的就学支援措置の内容(授業料減免措置、奨学金等の案内)
(8)学校の財務	財務諸表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	外国の学校等との交流状況(教員・学生間交流や単位互換等に関する実績)
(11)その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL: <https://www.toyoiryu.ac.jp/gakko/jyuhou/>

公表時期: 令和6年7月31日

授業科目等の概要

(医療専門課程 柔道整復師学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアデザイン講座1 Course of Career Design 1	社会人基礎力を学ぶことにより、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力を習得する。	1前	30	2	○			○			○	
○			キャリアデザイン講座2 Course of Career Design 2	医療を学ぶ上での基礎知識を学び、科学的視点、論理的思考を身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			栄養学 Nutrition	患者の治療に携わる際の栄養指導の基礎を習得する。	1前	30	2	○			○			○	
○			医学英語 Medical English	コミュニケーションのためのレッスンを中心に柔道整復／医療に結びつく英語の習得。	1前	30	2	○			○			○	
○			社会福祉学 Social Welfare	社会福祉の概念と社会福祉政策の現状と介護福祉について学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			心理学 Psychology	自分を知ることから始め、患者心理を学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	
○			経営マネジメント Office Management	経営学の基礎と。開業に際して必要な知識を学ぶ。	3前	30	2	○			○			○	
○			解剖学1 Anatomy 1	人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に骨・関節・筋を中心に理解する。 1. 人体解剖学概説 2. 運動器系 3. 脈管系 4. 消化器系 5. 呼吸器系	1前	30	2	○			○			○	
○			解剖学2 Anatomy 2	人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に内臓器を中心に理解する。 6. 泌尿器系 7. 生殖器系 8. 内分泌系 9. 神経系 10. 感覚器系 11. 体表解剖	1後	30	2	○			○			○	
○			生理学1 Physiology 1	人体の生理機能を学ぶ。身体生命現象について理解する。 1. 総論 2. 血液と循環 3. 呼吸 4. 栄養と代謝 5. 消化と吸収 6. 体温とその調節	1前	30	2	○			○			○	
○			生理学2 Physiology 2	人体の生理機能を学ぶ。身体生命現象について理解する。 7. 尿の生成と排泄 8. 内分泌 9. 骨の生理 10. 神経 11. 筋肉の機能 12. 感覚の生理 13. 生殖	1後	30	2	○			○			○	
○			生理学3 Physiology 3 【高齢者・競技者の生理学的特徴・変化】	高齢者・競技者の生理学的特徴・変化を学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	

○			解剖生理学 1 Anatomy and Physiology 1	人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 循環器系・消化器系・呼吸器系	2 前	30	2	○				○			○	
○			解剖生理学 2 Anatomy and Physiology 2	人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 泌尿器系・生殖器系・神経系・感覚器系	2 後	30	2	○				○			○	
○			運動学 Kinesiology	人体の運動機能を、骨、筋肉、関節を中心に学ぶ。骨・関節・筋の構造と機能を理解する。 1. 運動学総論 2. 運動器の構造と機能 3. 運動の発現と制御 4. 頭・頸部・四肢と体幹の運動 5. 姿勢運動発達歩行	2 前	30	2	○				○			○	
○			リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	リハビリテーション医学への理解を深め、その知識と技術を学ぶ。 1. 総論 2. 障害 3. 評価 4. 治療 5. 治療各論	2 前	30	2	○				○			○	
○			一般臨床医学 General remarks of Clinical Medicine	内科疾患を中心に、診断、治療法を学ぶ。 1. 診察概論 2. 診察各論(問診・視診・打診・聴診・触診・生命徴候・知覚検査・反射検査) 3. 検査法 4. 主要な疾患	2 後	30	2	○				○			○	
○			整形外科 Orthopedic Surgery	整形外科の診断法と整形外科疾患を学ぶ。 総論：1. 診断法と検査法 2. 治療概論 3. 外傷総論 各論：1. 先天性骨系統疾患 2. 感染性軟部 3. 非感染性軟部組織・関節疾患 4. 骨端症 5. 骨・軟部腫瘍 6. 汎発性骨疾患 7. 神経および筋の疾患 8. 一般外傷・障害	2 前	15	1	○				○			○	
○			病理学概論 Introduction of Pathology	疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を学ぶ。 1. 病理学の意義 2. 疾病の一般 3. 病因 4. 退行性病変 5. 循環障害 6. 進行性病変 7. 炎症 8. 免疫異常・アレルギー 9. 腫瘍 10. 先天性異常	2 後	30	2	○				○			○	
○			外科学概論 Introduction of Surgery	外科学の基礎と外科疾患を学ぶ。 1. 損傷 2. 炎症 3. 外科的感染症 4. 腫瘍 5. ショック 6. 失血と輸血・輸液 7. 滅菌法と消毒法 8. 手術 9. 麻酔 10. 移植 11. 止血 12. ショック対策 13. 蘇生法 14. 頭部・顔面部外傷 15. 意識障害 16. けいれん 17. 脳卒中 18. 脊椎損傷 19. 胸部外傷 20. 腹部外傷	2 前	30	2	○				○			○	
○			衛生学・公衆衛生学 Hygiene and Public Health	環境保健、地域の公衆衛生を学ぶ。 1. 衛生学ならびに公衆衛生学の意義 2. 環境衛生 3. 公衆衛生 4. 感染症 5. 消毒	2 後	30	2	○				○			○	
○			基礎鑑別学	対象となる運動器疾患が業務範囲にあたるのかを適切に判断、施術できる能力を養う。	2 後	30	2	○				○			○	
○			関係法規 Legal Issues in Medicine	柔道整復師業務に従事する上で必要な法令、法規を学ぶ。	3 前	30	2	○				○		○		
○			柔道 1 Judo 1	柔道の技術と礼儀作法を基礎から身につける。	1 前	30	1					○	○		○	○
○			柔道 2 Judo 2	柔道の一步進んだ技術と礼儀作法を身につける。	1 後	30	1					○	○		○	○
○			柔道 3 Judo 3	柔道の技術と礼儀作法を学び、形(手技・腰技)を習得する。	2 後	30	1					○	○		○	○
○			柔道 4 Judo 4	柔道の技術と礼儀作法を学び、形(足技)を習得する。	3 前	30	1					○	○		○	○

○			柔道概論 Introduction of Judo 【職業倫理を含む】	柔道の歴史・考え方通して、礼節作法を学ぶ。また職業倫理について学ぶ。	3 前	30	2	○				○			○	○
○			社会保障論	医療費などの社会保障制度を理解し、健康や障害に応じた社会資源の活用ができる知識を学ぶ。	3 後	15	1	○				○			○	○
○			柔整総論 1 General Judo Therapy 1	柔道整復学総論（骨折・脱臼）を学ぶ。	1 前	30	2	○				○		○		
○			柔整総論 2 General Judo Therapy 2	柔道整復学総論（軟部組織損傷）を学ぶ。	1 前	30	2	○				○			○	○
○			柔整総論 3 General Judo Therapy 3	柔道整復学総論（治療法）を学ぶ。	1 前	30	2	○				○			○	○
○			柔整基礎講座 1 Course of Basic Judo Therapy 1	柔道整復術の習得に必要な人体の基礎を学ぶ。	1 前	30	2		○			○		○		
○			柔整基礎講座 2 Course of Basic Judo Therapy 2	柔道整復術の習得に必要な人体の基礎を学ぶ。	1 後	30	2		○			○		○		
○			後療法学 【外傷の保存療法】	外傷の経過および治療判断方法を学ぶ。	3 前	15	1	○				○		○		
○			臨床柔整学 基礎各論 1 Clinical Judo Therapy Basic 1	柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	1 後	30	2	○				○			○	○
○			臨床柔整学 基礎各論 2 Clinical Judo Therapy Basic 2	柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	1 後	30	2	○				○			○	○
○			臨床柔整学 基礎各論 3 Clinical Judo Therapy Basic 3	柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	1 後	30	2	○				○			○	○
○			臨床柔整学 基礎各論 4 Clinical Judo Therapy Basic 4	柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	1 後	30	2	○				○			○	○
○			臨床柔整学 応用各論 1 Clinical Judo Therapy Advanced 2	柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	2 前	30	2	○				○			○	○
○			臨床柔整学 応用各論 2 Clinical Judo Therapy Advanced 2	柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	2 前	30	2	○				○		○		
○			臨床柔整学 応用各論 3 Clinical Judo Therapy Advanced 3	柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。	2 前	30	2	○				○			○	○

○		柔整応用鑑別学 【医用画像の理解】	施術における損傷の適不適を判断できるよう医用画像診断を学ぶ。	3 後	30	2	○			○			○	○
○		物理療法学 【物理療法機器の取り扱い】	物理療法機器の原理、作用などを学ぶ。	1 後	15	1	○			○		○		
○		基礎包帯固定学 1 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 1	巻軸包帯を用いた手関節周囲の基礎包帯法を学ぶ。	1 前	30	1			○	○		○		
○		基礎包帯固定学 2 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 2	巻軸包帯を用いた基礎包帯法や、三角巾による固定法、副子などの作成過程を学ぶ。	1 後	30	1			○	○		○		
○		柔整コンディショニング実習 1 Judo Therapy Conditioning Skill Practice 1	実習を通じて固定法などの身体のコンディショニングスキル（治療技術含む）を習得する。	2 前	30	1			○	○		○		
○		柔整コンディショニング実習 2 Judo Therapy Conditioning Skill Practice 2	実習を通じてコンディショニングスキル（ストレッチング方法、固定法など含む）の治療技術を習得する。	2 後	30	1			○	○			○	○
○		外傷予防理論実習 1 【高齢者の外傷予防】	高齢者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。	2 後	30	1			○	○			○	○
○		外傷予防理論実習 2 【競技者の外傷予防】	競技者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。	3 前	30	1			○	○			○	○
○		柔道整復実技 1 Judo Therapy Practical Training 1	柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	2 前	30	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 2 Judo Therapy Practical Training 2	柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	2 前	30	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 3 Judo Therapy Practical Training 3	柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	2 後	30	1			○	○			○	○
○		柔道整復実技 4 Judo Therapy Practical Training 4	柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	2 後	30	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 5 Judo Therapy Practical Training 5	柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	2 後	30	1			○	○			○	○
○		柔道整復実技 6 Judo Therapy Practical Training 6	柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	2 後	30	1			○	○			○	○

○		柔整外傷学実習 1 Judo Therapy and Traumatology Practice 1	柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	3 前	30	1			○	○			○	○
○		柔整外傷学実習 2 Judo Therapy and Traumatology Practice 2	柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	3 前	30	1			○	○			○	○
○		柔整外傷学実習 3 Judo Therapy and Traumatology Practice 3	柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	3 前	30	1			○	○			○	○
○		柔整外傷学実習 4 Judo Therapy and Traumatology Practice 4	柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	3 前	30	1			○	○			○	○
○		柔整外傷学実習 5 Judo Therapy and Traumatology Practice 5	柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	3 前	30	1			○	○		○		
○		臨床実習 1 Clinical Training 1	附属接骨院にて臨床実習を行う。	1 後	45	1			○	○		○		
○		臨床実習 2 Clinical Training 2	附属接骨院にて臨床実習を行う。	2 前	45	1			○	○		○		
○		臨床実習 3 Clinical Training 3	外部接骨院にて臨床実習を行う。	2 後	45	1			○		○		○	○
○		臨床実習 4 Clinical Training 4	附属接骨院にて臨床実習を行う。	3 前	45	1			○	○			○	○
○		柔整解剖 A Anatomy of Judo Therapy A	柔道整復師として必要な解剖学（特に上肢の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。	1 前	30	2	○			○			○	
○		柔整解剖 B Anatomy of Judo Therapy B	柔道整復師として必要な解剖学（特に下肢体幹の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。	1 後	30	2	○			○			○	
○		柔整生理 A Physiology of Judo Therapy A	柔道整復師として必要な生理学（骨・筋・神経などを中心）を総合的に学ぶ。	1 前	30	2	○			○		○		
○		柔整生理 B Physiology of Judo Therapy B	柔道整復師として必要な生理学（消化・吸収・代謝などを中心）を総合的に学ぶ。	1 後	30	2	○			○		○		
○		コンディショニングトレーナー講座 1 Course of Conditioning Trainer Skill 1	コンディショニング理論と実践的な手法（スピード・アジリティ）を学ぶ。	1 前	30	1	○			○			○	○

○		コンディショニングトレーナー講座2 Course of Conditioning Trainer Skill 2	コンディショニング理論と実践的な手法(クイックネス)を学ぶ。	1後	30	1	○			○			○	○
○		手技療法1 Manual Therapy Skill Training 1	柔道整復業務に必要な手技において基本形を学ぶ。	1前	30	1	○			○		○		
○		手技療法2 Manual Therapy Skill Training 2	症状によって手技を使い分け実践に近い手技を学ぶ。	1後	30	1	○			○		○		
○		基礎医学講座1 Course of Basic Medicine	医学を学ぶ上で必要な基礎知識(生物学など)を学ぶ。	2後	30	2		○		○		○		
○		基礎医学講座2 Course of Basic Medicine	医学を学ぶ上で必要な基礎知識(生物学など)を学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	
○		課題研究 Project Studies	設定したテーマについて研究、考察することで考え、行動し、自ら問題解決のできる能力を養うことを目的とする実習。	2後	15	1	○			○			○	
○		柔道整復応用講座1 Course of Judo Therapy Advanced 1	柔道整復師として必要な運動学を学ぶ。	2前	30	2	○			○		○		
○		柔道整復応用講座2 Course of Judo Therapy Advanced 2	柔道整復師として必要なリハビリテーション医学を学ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
○		柔道整復応用講座3 Course of Judo Therapy Advanced 3	柔道整復師として必要な一般臨床医学を学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	
○		柔道整復応用講座4 Course of Judo Therapy Advanced 4	柔道整復師に必要な整形外科学を学ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
○		柔道整復応用講座5 Course of Judo Therapy Advanced 5	柔道整復師として必要な病理学を学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	
○		柔道整復応用講座6 Course of Judo Therapy Advanced 6	柔道整復師に必要な外科学を学ぶ。	3前	30	2		○		○		○		
○		柔道整復応用講座7 Course of Judo Therapy Advanced 7	柔道整復師として必要な衛生学を学ぶ。	3前	30	2		○		○		○		
○		柔整医学演習1 Medical Practice of Judo Therapy 1	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3前	30	2		○		○			○	○
○		柔整医学演習2 Medical Practice of Judo Therapy 2	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3前	30	2		○		○		○		
○		柔整医学演習3 Medical Practice of Judo Therapy 3	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3後	30	2		○		○		○		

○		柔整医学演習 4 Medical Practice of Judo Therapy 4	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○		○		
○		柔整医学演習 5 Medical Practice of Judo Therapy 5	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○		○		
○		柔整医学演習 6 Medical Practice of Judo Therapy 6	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○			○	
○		柔整医学演習 7 Medical Practice of Judo Therapy 7	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○			○	
○		柔整医学演習 8 Medical Practice of Judo Therapy 8	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○		○		
○		柔整医学演習 9 Medical Practice of Judo Therapy 9	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○		○		
○		柔整医学演習 10 Medical Practice of Judo Therapy 10	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○			○	
○		柔整医学演習 11 Medical Practice of Judo Therapy 11	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2		○		○		○		
		柔整医学演習 12 Medical Practice of Judo Therapy 12	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。											
		柔整医学演習 13 Medical Practice of Judo Therapy 13	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。											
○		柔整医学演習 14 Medical Practice of Judo Therapy 14	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2				○		○		
○		柔整医学演習 15 Medical Practice of Judo Therapy 15	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2				○			○	
○		柔整医学演習 16 Medical Practice of Judo Therapy 16	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	30	2				○		○		
○		柔整医学演習 17 Medical Practice of Judo Therapy 17	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	3 後	15	1				○		○		
合計			100科目		2925単位時間(162単位)									

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
卒業要件：所定の単位を全て修得すること。			1 学年の学期区分	前後 期

学年を通じて所定の授業時間数の4分の3以上出席し、各教科の期末試験および中間試験で、100点満点中60点以上の合格点を取得すること	1 学期の授業期間	24 週
--	-----------	------

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。